共通事前確認事項

次の事項(①～⑦)のすべてに該当してますか。

①申請資格および事業の公益性

申請者が募集要綱に定める申請資格を満たし、契約、事業の実施、会計処理、報告および助成金の返還に責任を負える体制を備えていること。
申請内容に虚偽、重大な記載漏れその他不正がないこと。
事業が本財団の定款第3条に定める目的および第4条に定める事業範囲に適合し、北海道内の社会福祉または公共活動の向上に寄与すること。

定款第3条の目的
北海道の未来をつくるための社会福祉および公共に関する活動を支援し、北海道の社会福祉の向上および公共活動の向上に寄与すること。
定款第4条の事業範囲

1. 社会福祉に関する事業の支援
2. 障害者・障害児福祉事業および障害者・障害児福祉に関する支援
3. 養護施設、養護学校等の事業に関する支援
4. 高齢者福祉事業および高齢者福祉に関する支援
5. 児童・青少年の健全育成事業に関する支援
6. 地域社会の福祉向上事業および地域社会福祉に関する支援
7. 地域コミュニティの活性化を図る事業の支援
8. 災害時の被災者支援や復興支援活動
9. 環境保護や地域資源の有効活用に関する活動の支援
10. その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

不特定多数の利益につながる事業であること。受益者を限定する場合は、その理由および選定方法を明らかにするこ
特定の企業、個人またはその関係者の利益を主たる目的とせず、寄附者、役員、職員、親族その他の関係者に特別の利益を与えないこと。
政治活動または特定の宗教活動を目的としないこと。
申請者および事業関係者が反社会的勢力に該当せず、反社会的勢力との関係を有しないこと。

②事業計画および助成金の使途

事業の課題、活動内容、受益者、実施期間、成果目標および助成金の使途を具体的かつ明確にすること。
募集要綱に定める助成金額および対象経費の条件を満たし、各経費が事業の実施に必要かつ合理的であること。
使途が明らかでない支援や、団体または事業の赤字補填を目的とする申請ではないこと。
営利事業または私的利用と共用する施設、設備、物品等に係る経費については、助成対象事業に係る収支および使途を合理的に区分すること。
事業に必要な財源を確保し、必要に応じて自己負担金、自治体負担金、他の助成金等の財源を確保すること。
申請中または決定済みの他の助成金、補助金、事業収入等を申告し、同一の支出に対して複数の財源を重複して充当しないこと。

③実施体制、法令遵守および利益相反

事業を適切に実施できる体制および会計管理体制を備えていること。
関係法令を遵守し、事業に必要な許認可、承諾等を取得するとともに、参加者、受益者および関係者の安全を確保すること。
申請者と本財団との利害関係、ならびに関係者への発注、支払い、特典の提供等について確認し、必要な事項を申告すること。
本財団から利害関係等について確認を求められた場合は、これに誠実に応じること。

④事業の実施および変更

事業を募集要綱に定める対象期間内に完了すること。
申請時の内容から重要な変更が生じる場合は、事前に変更承認申請書を提出し、本財団の承認を受けること。
事業を中止または延期する場合は、速やかに本財団へ報告し、必要な手続きを行うこと。
助成対象となる施設、設備、物品等について、所有者、管理者および維持費の負担者を明確にすること。
これらを売却、譲渡、転用その他当初の目的と異なる用途に供する場合は、事前に本財団の承認を受けること。

⑤実績報告、効果検証および書類の保存

事業完了後、所定の実績報告書および収支報告書を、募集要綱に定める期限までに提出すること。地方公共団体を除き、報告書等の提出を遅滞なく行うこと。
事業の成果および効果を検証し、その結果を報告すること。
領収書、請求書、契約書その他の証憑書類を提出または保存し、本財団から求めがあった場合は提示すること。
本財団による調査、確認、照会その他の手続きに誠実に応じること。

⑥公表および助成表示

助成先、事業内容および成果等を本財団が公表することに同意すること。ただし、公表に当たっては、個人情報、プライバシーおよび正当な権利に配慮する。
助成事業により作成する成果物、広報物その他本財団が指定するものに、本財団から助成を受けた旨を表示するこ

⑦助成の取消し、減額および返還

虚偽または不正な申請、助成金の目的外使用、無承認の重要な変更または事業の中止、その他助成条件への違反があった場合、本財団は助成決定の全部または一部を取り消し、助成金を減額し、または返還を求めることがあります。

助成金の未使用額および精算により返還すべき額が生じた場合は、本財団が指定する期限までに返還してください。

補助シート

以下、該当の申請区分の設問に回答し、「2027年度北海道応援事業助成公募申請書」の5.申請事業情報の対象部分に数字を選択してください。

①【福祉】福祉施設整備

	設問1　現在の課題（暑さ・寒さ・停電・設備老朽化）の状況に最も近いものを選んでください
1	既に安全・生命・生活に重大な支障が出ている（事故・停止・中止の実績あり）
2	支障が頻繁に発生し、代替手段がない
3	支障はあるが、代替手段で一時的に対応している
4	現時点で支障はないが、1～2年内に支障が見込まれる（耐用年数超過等）
5	機能の充実・向上が目的（現状の支障なし）
	設問2　施設の実利用者数（職員除く）を選んでください
1	100人以上
2	50～99人
3	30～49人
4	10～29人
5	10人未満
	設問3　整備する設備の使用頻度を選んでください
1	毎日（通年）
2	毎日（季節限定）
3	週数回
4	月数回
5	年数回以下
	設問4　助成後の維持管理・運用体制の状況を選んでください
1	維持費・更新費の財源確保済み、運用担当者・点検計画も文書化済み
2	財源確保済み、運用担当者を決定済み（計画は作成中）
3	財源の見込みあり（予算申請中等）、担当者決定済み
4	財源・担当者とも検討中
5	未定
	設問5　他団体・地域との連携や利用開放の状況を選んでください
1	自治体・他団体と協定・合意済みで共同実施（文書あり）
2	他団体と連携予定で協議中（議事録等あり）
3	地域住民・関係者への周知・利用開放を予定
4	自団体内での活用に限る（今後連携を検討）
5	連携・周知の予定なし

②【福祉】こども・子育て支援

	設問1　現在の課題（学習・体験・居場所の不足）の状況に最も近いものを選んでください
1	既に安全・生命・生活に重大な支障が出ている（事故・停止・中止の実績あり）
2	支障が頻繁に発生し、代替手段がない
3	支障はあるが、代替手段で一時的に対応している
4	現時点で支障はないが、1～2年内に支障が見込まれる（耐用年数超過等）
5	機能の充実・向上が目的（現状の支障なし）
	設問2　年間の参加こどもの実人数を選んでください
1	200人以上
2	100～199人
3	50～99人
4	20～49人
5	20人未満
	設問3　事業・設備の実施（利用）頻度を選んでください
1	週5日以上
2	週2～4日
3	週1日
4	月1～3回
5	年数回以下
	設問4　助成後の維持管理・運用体制の状況を選んでください
1	維持費・更新費の財源確保済み、運用担当者・点検計画も文書化済み
2	財源確保済み、運用担当者を決定済み（計画は作成中）
3	財源の見込みあり（予算申請中等）、担当者決定済み
4	財源・担当者とも検討中
5	未定
	設問5　他団体・地域との連携や利用開放の状況を選んでください
1	自治体・他団体と協定・合意済みで共同実施（文書あり）
2	他団体と連携予定で協議中（議事録等あり）
3	地域住民・関係者への周知・利用開放を予定
4	自団体内での活用に限る（今後連携を検討）
5	連携・周知の予定なし

③【福祉】自立・社会参加支援

	設問1　現在の課題（地域生活・就労・参加機会の不足）の状況に最も近いものを選んでください
1	既に安全・生命・生活に重大な支障が出ている（事故・停止・中止の実績あり）
2	支障が頻繁に発生し、代替手段がない
3	支障はあるが、代替手段で一時的に対応している
4	現時点で支障はないが、1～2年内に支障が見込まれる（耐用年数超過等）
5	機能の充実・向上が目的（現状の支障なし）
	設問2　年間の支援対象者の実人数を選んでください
1	100人以上
2	50～99人
3	20～49人
4	10～19人
5	10人未満
	設問3　訓練・活動の実施頻度を選んでください
1	週5日以上
2	週2～4日
3	週1日
4	月1～3回
5	年数回以下
	設問4　助成後の維持管理・運用体制の状況を選んでください
1	維持費・更新費の財源確保済み、運用担当者・点検計画も文書化済み
2	財源確保済み、運用担当者を決定済み（計画は作成中）
3	財源の見込みあり（予算申請中等）、担当者決定済み
4	財源・担当者とも検討中
5	未定
	設問5　他団体・地域との連携や利用開放の状況を選んでください
1	自治体・他団体と協定・合意済みで共同実施（文書あり）
2	他団体と連携予定で協議中（議事録等あり）
3	地域住民・関係者への周知・利用開放を予定
4	自団体内での活用に限る（今後連携を検討）
5	連携・周知の予定なし

④【福祉】福祉移動支援

	設問1　現在の課題（通院・買物・福祉サービス利用の移動困難）の状況に最も近いものを選んでください
1	既に安全・生命・生活に重大な支障が出ている（事故・停止・中止の実績あり）
2	支障が頻繁に発生し、代替手段がない
3	支障はあるが、代替手段で一時的に対応している
4	現時点で支障はないが、1～2年内に支障が見込まれる（耐用年数超過等）
5	機能の充実・向上が目的（現状の支障なし）
	設問2　年間の利用者実人数を選んでください
1	100人以上
2	50～99人
3	20～49人
4	10～19人
5	10人未満
	設問3　車両・サービスの運行頻度を選んでください
1	毎日
2	週4～6日
3	週2～3日
4	週1日
5	月数回以下
	設問4　助成後の維持管理・運用体制の状況を選んでください
1	維持費・更新費の財源確保済み、運用担当者・点検計画も文書化済み
2	財源確保済み、運用担当者を決定済み（計画は作成中）
3	財源の見込みあり（予算申請中等）、担当者決定済み
4	財源・担当者とも検討中
5	未定
	設問5　他団体・地域との連携や利用開放の状況を選んでください
1	自治体・他団体と協定・合意済みで共同実施（文書あり）
2	他団体と連携予定で協議中（議事録等あり）
3	地域住民・関係者への周知・利用開放を予定
4	自団体内での活用に限る（今後連携を検討）
5	連携・周知の予定なし

⑤【福祉】生活・地域福祉支援

	設問1　現在の課題（生活困窮・孤立・日常生活上の困難）の状況に最も近いものを選んでください
1	既に安全・生命・生活に重大な支障が出ている（事故・停止・中止の実績あり）
2	支障が頻繁に発生し、代替手段がない
3	支障はあるが、代替手段で一時的に対応している
4	現時点で支障はないが、1～2年内に支障が見込まれる（耐用年数超過等）
5	機能の充実・向上が目的（現状の支障なし）
	設問2　年間の支援対象者の実人数を選んでください
1	300人以上
2	100～299人
3	50～99人
4	20～49人
5	20人未満
	設問3　支援（配布・相談・見守り等）の実施頻度を選んでください
1	週5日以上
2	週2～4日
3	週1日
4	月1～3回
5	年数回以下
	設問4　助成後の維持管理・運用体制の状況を選んでください
1	維持費・更新費の財源確保済み、運用担当者・点検計画も文書化済み
2	財源確保済み、運用担当者を決定済み（計画は作成中）
3	財源の見込みあり（予算申請中等）、担当者決定済み
4	財源・担当者とも検討中
5	未定
	設問5　他団体・地域との連携や利用開放の状況を選んでください
1	自治体・他団体と協定・合意済みで共同実施（文書あり）
2	他団体と連携予定で協議中（議事録等あり）
3	地域住民・関係者への周知・利用開放を予定
4	自団体内での活用に限る（今後連携を検討）
5	連携・周知の予定なし

⑥【福祉】福祉人材・連携支援

	設問1　現在の課題（人材不足・専門性・連携の不足・職員負担）の状況に最も近いものを選んでください
1	既に安全・生命・生活に重大な支障が出ている（事故・停止・中止の実績あり）
2	支障が頻繁に発生し、代替手段がない
3	支障はあるが、代替手段で一時的に対応している
4	現時点で支障はないが、1～2年内に支障が見込まれる（耐用年数超過等）
5	機能の充実・向上が目的（現状の支障なし）
	設問2　研修・連携の対象となる職員数を選んでください
1	職員100人以上
2	職員50～99人
3	職員20～49人
4	職員10～19人
5	職員10人未満
	設問3　研修・機器活用・連携活動の頻度を選んでください
1	日常業務で毎日活用
2	週1回以上
3	月1回以上
4	年数回
5	年1回以下
	設問4　助成後の維持管理・運用体制の状況を選んでください
1	維持費・更新費の財源確保済み、運用担当者・点検計画も文書化済み
2	財源確保済み、運用担当者を決定済み（計画は作成中）
3	財源の見込みあり（予算申請中等）、担当者決定済み
4	財源・担当者とも検討中
5	未定
	設問5　他団体・地域との連携や利用開放の状況を選んでください
1	自治体・他団体と協定・合意済みで共同実施（文書あり）
2	他団体と連携予定で協議中（議事録等あり）
3	地域住民・関係者への周知・利用開放を予定
4	自団体内での活用に限る（今後連携を検討）
5	連携・周知の予定なし

⑦【福祉】その他

	設問1　現在の課題（申請書に記載の課題）の状況に最も近いものを選んでください
1	既に安全・生命・生活に重大な支障が出ている（事故・停止・中止の実績あり）
2	支障が頻繁に発生し、代替手段がない
3	支障はあるが、代替手段で一時的に対応している
4	現時点で支障はないが、1～2年内に支障が見込まれる（耐用年数超過等）
5	機能の充実・向上が目的（現状の支障なし）
	設問2　年間の受益者実人数を選んでください
1	300人以上
2	100～299人
3	50～99人
4	20～49人
5	20人未満
	設問3　事業・設備の実施（利用）頻度を選んでください
1	毎日
2	週数回
3	月数回
4	年数回
5	年1回以下
	設問4　助成後の維持管理・運用体制の状況を選んでください
1	維持費・更新費の財源確保済み、運用担当者・点検計画も文書化済み
2	財源確保済み、運用担当者を決定済み（計画は作成中）
3	財源の見込みあり（予算申請中等）、担当者決定済み
4	財源・担当者とも検討中
5	未定
	設問5　他団体・地域との連携や利用開放の状況を選んでください
1	自治体・他団体と協定・合意済みで共同実施（文書あり）
2	他団体と連携予定で協議中（議事録等あり）
3	地域住民・関係者への周知・利用開放を予定
4	自団体内での活用に限る（今後連携を検討）
5	連携・周知の予定なし

⑧【公共】消防・救急支援

	設問1　現在の課題（車両老朽化・救命救急体制の不足）の状況に最も近いものを選んでください
1	既に安全・生命・生活に重大な支障が出ている（事故・停止・中止の実績あり）
2	支障が頻繁に発生し、代替手段がない
3	支障はあるが、代替手段で一時的に対応している
4	現時点で支障はないが、1～2年内に支障が見込まれる（耐用年数超過等）
5	機能の充実・向上が目的（現状の支障なし）
	設問2　整備により守られる管轄人口を選んでください
1	5万人以上
2	2万～5万人未満
3	1万～2万人未満
4	5千～1万人未満
5	5千人未満
	設問3　車両・機器の出動・訓練での使用頻度を選んでください
1	週数回以上
2	週1回程度
3	月数回
4	月1回程度
5	年数回以下
	設問4　助成後の維持管理・運用体制の状況を選んでください
1	維持費・更新費の財源確保済み、運用担当者・点検計画も文書化済み
2	財源確保済み、運用担当者を決定済み（計画は作成中）
3	財源の見込みあり（予算申請中等）、担当者決定済み
4	財源・担当者とも検討中
5	未定
	設問5　他団体・地域との連携や利用開放の状況を選んでください
1	自治体・他団体と協定・合意済みで共同実施（文書あり）
2	他団体と連携予定で協議中（議事録等あり）
3	地域住民・関係者への周知・利用開放を予定
4	自団体内での活用に限る（今後連携を検討）
5	連携・周知の予定なし

⑨【公共】防災・避難所整備

	設問1　現在の課題（災害・停電時の生活環境、避難体制の不足）の状況に最も近いものを選んでください
1	既に安全・生命・生活に重大な支障が出ている（事故・停止・中止の実績あり）
2	支障が頻繁に発生し、代替手段がない
3	支障はあるが、代替手段で一時的に対応している
4	現時点で支障はないが、1～2年内に支障が見込まれる（耐用年数超過等）
5	機能の充実・向上が目的（現状の支障なし）
	設問2　整備する避難所等の想定収容・受益人数を選んでください
1	500人以上
2	200～499人
3	100～199人
4	50～99人
5	50人未満
	設問3　平時の活用（訓練・点検・地域行事）頻度を選んでください
1	月1回以上
2	年6～11回
3	年3～5回
4	年1～2回
5	活用予定なし
	設問4　助成後の維持管理・運用体制の状況を選んでください
1	維持費・更新費の財源確保済み、運用担当者・点検計画も文書化済み
2	財源確保済み、運用担当者を決定済み（計画は作成中）
3	財源の見込みあり（予算申請中等）、担当者決定済み
4	財源・担当者とも検討中
5	未定
	設問5　他団体・地域との連携や利用開放の状況を選んでください
1	自治体・他団体と協定・合意済みで共同実施（文書あり）
2	他団体と連携予定で協議中（議事録等あり）
3	地域住民・関係者への周知・利用開放を予定
4	自団体内での活用に限る（今後連携を検討）
5	連携・周知の予定なし

⑩【公共】被災者・復興支援

	設問1　現在の課題（被災後の生活・施設・地域機能の喪失）の状況に最も近いものを選んでください
1	既に安全・生命・生活に重大な支障が出ている（事故・停止・中止の実績あり）
2	支障が頻繁に発生し、代替手段がない
3	支障はあるが、代替手段で一時的に対応している
4	現時点で支障はないが、1～2年内に支障が見込まれる（耐用年数超過等）
5	機能の充実・向上が目的（現状の支障なし）
	設問2　年間に直接支援を受ける被災者の実人数を選んでください
1	300人以上
2	100～299人
3	50～99人
4	20～49人
5	20人未満
	設問3　支援の実施期間・回数を選んでください
1	6か月以上継続
2	3～6か月
3	1～3か月
4	1か月未満（複数回）
5	単発1回
	設問4　助成後の維持管理・運用体制の状況を選んでください
1	維持費・更新費の財源確保済み、運用担当者・点検計画も文書化済み
2	財源確保済み、運用担当者を決定済み（計画は作成中）
3	財源の見込みあり（予算申請中等）、担当者決定済み
4	財源・担当者とも検討中
5	未定
	設問5　他団体・地域との連携や利用開放の状況を選んでください
1	自治体・他団体と協定・合意済みで共同実施（文書あり）
2	他団体と連携予定で協議中（議事録等あり）
3	地域住民・関係者への周知・利用開放を予定
4	自団体内での活用に限る（今後連携を検討）
5	連携・周知の予定なし

⑪【公共】地域交通支援

	設問1　現在の課題（路線縮小・交通空白・移動手段の不足）の状況に最も近いものを選んでください
1	既に安全・生命・生活に重大な支障が出ている（事故・停止・中止の実績あり）
2	支障が頻繁に発生し、代替手段がない
3	支障はあるが、代替手段で一時的に対応している
4	現時点で支障はないが、1～2年内に支障が見込まれる（耐用年数超過等）
5	機能の充実・向上が目的（現状の支障なし）
	設問2　年間の利用者実人数（見込み）を選んでください
1	200人以上
2	100～199人
3	50～99人
4	20～49人
5	20人未満
	設問3　運行頻度を選んでください
1	毎日
2	週4～6日
3	週2～3日
4	週1日
5	月数回以下
	設問4　助成後の維持管理・運用体制の状況を選んでください
1	維持費・更新費の財源確保済み、運用担当者・点検計画も文書化済み
2	財源確保済み、運用担当者を決定済み（計画は作成中）
3	財源の見込みあり（予算申請中等）、担当者決定済み
4	財源・担当者とも検討中
5	未定
	設問5　他団体・地域との連携や利用開放の状況を選んでください
1	自治体・他団体と協定・合意済みで共同実施（文書あり）
2	他団体と連携予定で協議中（議事録等あり）
3	地域住民・関係者への周知・利用開放を予定
4	自団体内での活用に限る（今後連携を検討）
5	連携・周知の予定なし

⑫【公共】地域交流・拠点支援

	設問1　現在の課題（交流・共助・地域活動の衰退）の状況に最も近いものを選んでください
1	既に安全・生命・生活に重大な支障が出ている（事故・停止・中止の実績あり）
2	支障が頻繁に発生し、代替手段がない
3	支障はあるが、代替手段で一時的に対応している
4	現時点で支障はないが、1～2年内に支障が見込まれる（耐用年数超過等）
5	機能の充実・向上が目的（現状の支障なし）
	設問2　年間の延べ利用者数を選んでください
1	1,000人以上
2	500～999人
3	200～499人
4	50～199人
5	50人未満
	設問3　拠点の開所・活動頻度を選んでください
1	週5日以上
2	週2～4日
3	週1日
4	月1～3回
5	年数回以下
	設問4　助成後の維持管理・運用体制の状況を選んでください
1	維持費・更新費の財源確保済み、運用担当者・点検計画も文書化済み
2	財源確保済み、運用担当者を決定済み（計画は作成中）
3	財源の見込みあり（予算申請中等）、担当者決定済み
4	財源・担当者とも検討中
5	未定
	設問5　他団体・地域との連携や利用開放の状況を選んでください
1	自治体・他団体と協定・合意済みで共同実施（文書あり）
2	他団体と連携予定で協議中（議事録等あり）
3	地域住民・関係者への周知・利用開放を予定
4	自団体内での活用に限る（今後連携を検討）
5	連携・周知の予定なし

⑬【公共】環境・地域資源支援

	設問1　現在の課題（自然環境の劣化・資源の未活用・保全活動の不足）の状況に最も近いものを選んでください
1	既に安全・生命・生活に重大な支障が出ている（事故・停止・中止の実績あり）
2	支障が頻繁に発生し、代替手段がない
3	支障はあるが、代替手段で一時的に対応している
4	現時点で支障はないが、1～2年内に支障が見込まれる（耐用年数超過等）
5	機能の充実・向上が目的（現状の支障なし）
	設問2　年間の参加者・利用者の延べ人数を選んでください
1	1,000人以上
2	500～999人
3	200～499人
4	50～199人
5	50人未満
	設問3　活動・施設利用の頻度を選んでください
1	週1回以上（通年）
2	月2～3回
3	月1回
4	年数回
5	年1回以下
	設問4　助成後の維持管理・運用体制の状況を選んでください
1	維持費・更新費の財源確保済み、運用担当者・点検計画も文書化済み
2	財源確保済み、運用担当者を決定済み（計画は作成中）
3	財源の見込みあり（予算申請中等）、担当者決定済み
4	財源・担当者とも検討中
5	未定
	設問5　他団体・地域との連携や利用開放の状況を選んでください
1	自治体・他団体と協定・合意済みで共同実施（文書あり）
2	他団体と連携予定で協議中（議事録等あり）
3	地域住民・関係者への周知・利用開放を予定
4	自団体内での活用に限る（今後連携を検討）
5	連携・周知の予定なし

⑭【公共】その他

	設問1　現在の課題（申請書に記載の課題）の状況に最も近いものを選んでください
1	既に安全・生命・生活に重大な支障が出ている（事故・停止・中止の実績あり）
2	支障が頻繁に発生し、代替手段がない
3	支障はあるが、代替手段で一時的に対応している
4	現時点で支障はないが、1～2年内に支障が見込まれる（耐用年数超過等）
5	機能の充実・向上が目的（現状の支障なし）
	設問2　年間の受益者実人数を選んでください
1	1,000人以上
2	500～999人
3	200～499人
4	50～199人
5	50人未満
	設問3　事業・設備の実施（利用）頻度を選んでください
1	毎日
2	週数回
3	月数回
4	年数回
5	年1回以下
	設問4　助成後の維持管理・運用体制の状況を選んでください
1	維持費・更新費の財源確保済み、運用担当者・点検計画も文書化済み
2	財源確保済み、運用担当者を決定済み（計画は作成中）
3	財源の見込みあり（予算申請中等）、担当者決定済み
4	財源・担当者とも検討中
5	未定
	設問5　他団体・地域との連携や利用開放の状況を選んでください
1	自治体・他団体と協定・合意済みで共同実施（文書あり）
2	他団体と連携予定で協議中（議事録等あり）
3	地域住民・関係者への周知・利用開放を予定
4	自団体内での活用に限る（今後連携を検討）
5	連携・周知の予定なし